



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

主日勤務 執事 クララ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

聖霊降臨後第 6 主日(緑) 2025 年 7 月 20 日

礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式

(午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式・説教：司祭 卓志雄

聖歌 310 548 470

† 午前 9 時 15 分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：司祭 卓志雄

聖歌 310 548 470

† 午前 10 時 30 分 聖餐式

(午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌 310

参入

1 頁 (162 頁)

清めの祈り

1 頁 (162 頁)

キリエ

3 頁 (163 頁)

大栄光の歌

4 頁 (164 頁)

特祷 (特定 11)

み言葉

第一朗読 創世記

18 章 1-10a 節

詩編

第 15 編

第二朗読 コロサイの信徒への手紙 1 章 15-28 節

福音書前聖歌 447

福音書 ルカによる福音書

10 章 38-42 節

説教：司祭 卓志雄

ニケヤ信経

9 頁 (166 頁)

代祷 (週報 2 面)

12 頁 (168 頁)

聖餐

平和の挨拶

15 頁 (171 頁)

奉献聖歌 548

奉献

15 頁 (172 頁)

感謝聖別 I

16 頁 (172 頁)

陪餐

24 頁 (180 頁)

陪餐聖歌 268

感謝

28 頁 (182 頁)

祝福

28 頁 (183 頁)

派遣

退堂聖歌 470

† 午後 5 時 夕の礼拝

司式：執事 佐久間恵子

聖歌 316

詩 103 ヨシュ 6:14b-27 マタ 25:14-30

「1分典礼(礼拝 Q&A)」⑧7 月 20 日

*礼拝の中で、旧約聖書、使徒書、福音書が読まれますがお互いの関係はどうなっていますか？

⇒ 聖餐式では三つの聖書箇所(旧約聖書、使徒書、福音書)を朗読し、耳を傾けることによって、歴史の中の神と人の出来事に触れ、神の救いの歴史の中に入っていきます。旧約聖書は救い主が来られるまでの神様の業とメシアの到来の預言が記されており、使徒書はイエス様の福音を使徒たちがどのように伝えていたかが記されています。福音書はメシアであるキリストのご生涯における行いと言葉が記されています。特に福音書は、主イエスの言葉を直接聞くという意味で、立って福音書の方を向いて聴きます。

復活後の主日には、旧約聖書の代わりに使徒言行録が読まれますが、その理由について説明します。使徒言行録を読むことで、復活後のキリスト教の広がりや、使徒たちの信仰の力強さを感じることが出来ます。また、現代の私たちも、使徒たちの活動に励まされ、キリストの証人として生きることを促されます

また聖アンデレ教会において福音書が朗読される時に、出入口のドアを開けることは、この世界に主の福音が広べ伝えられていくこと、広がっていくことを意味します。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 ^{すくぬし} 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、^{ぜんこうかい} 全公会のため、また世界の^{せかい}のために祈りましょう

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、^{しゅ} 主の^{こうかい} 公会、ことに

[^{たくりうん} 聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、
^{さくまけいこ} クララ佐久間恵子執事、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[^{たかしひろゆき} 東京教区 (フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸主教)]

東京聖三一教会、

教会建築委員会、

ハラスメント防止委員会

[^{とうにっぽん} 東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)]

北関東教区の全ての働き

[^{うへはらえいしやう} 日本聖公会 (首座主教 ダビデ 上原榮 正 主教)]

横浜教区の全ての働き

[^{あめりか} アメリカ聖公会メリーランド教区

(^{ゆうじん} ユージン・テラー・サットン主教)]

ボルチモア ^{ほーりー} ホーリー・カベナント教会

ボルチモア ^{せいじゆうじ} 聖十字教会

ボルチモア ^{せいたん} 聖誕教会

ボルチモア ^{メモリアル} メモリアル教会

[^{エルサレム} エルサレムおよび中東聖公会

(^{ホサム・ナウム} ホサム・ナウム大主教)]

バイルート ^{きんとう} 近東神学校

[^{全世界} 全世界の聖公会]

^{パキスタン} パキスタン (合同) 教会

[^{日本キリスト教協議会} 日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

^{ドイツ語福音教会} ドイツ語福音教会、

^{NCC} NCC ドイツ語圏教会関係委員会

を強めて、^こ みよのみ業を行わせてください。

すべての^{せいしよく} 聖職と信徒、ことに私たちの主教

^{フランシスコ・ザビエル} フランシスコ・ザビエルを^{みちび} 導き、^な み名を呼ぶ

者を^{しゅ} 主の真理と愛のうちに一致させ日々^ひ 主の

^{えいこう} 栄光をこの世に^よ 現す者と^{あらわ} ならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、すべての^{くに} 国の^{ひと} 人びと、ことに中東

^{ウクライナ} ウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和

と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の

人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に^{ちえ} 知恵を与えて^{せいぎ} 正義と^{へいわ} 平和の道に^{みち} 導いてください

^{たが} 互いに^{そんけい} 尊敬する^{ころ} 心を与え、ともにすべての^{ひと} 人の^{さいわ} 幸

いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、わたしたちと^{かぞく} 家族、すべての^{ゆうじん} 友人と

^{とな} 隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれ

の家族、友人、同僚、心にかけている人びと、

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、

入信を希望している人々、洗礼、堅信、初陪餐、

結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由に

よって教会から離れている人々、この地域で生活

し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困

難な人びとを支える働きに関わる人びと(浅草聖

ヨハネ教会日曜給食活動、聖公会野宿者支援活

動・渋谷)、

7月の代祷・信施奉献先となっている働き・団体、

ことに、海の主日(総会決議)、聖公会八王子幼

稚園(学)光の子ども学園)、聖救主教会キッ

ドスクール(幼稚園)(聖救主教会キッドスクー

ル)、滝乃川学園(社福)滝乃川学園)

に^{あた} 恵みを与え、ともに^{しゅ} 主を知り、^{しゅ} 主に^{つか} 仕え、^{たが} 互いに

^{あい} 愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、^{なや} 悩む^{ひと} 人、^{かな} 悲しむ^{ひと} 人、^{びやうき} 病気の人、^{まず} 貧し

^{ひと} い人、その他^た 災いの中にある^{なや} 人びと、ことに感染症

の収束のため

[^{びやうしやう} 病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]、

北陸の震災の被災者、世界各地の自然災害の被害

のため困難な状況にある人びと、ことに地震

により被災地になったミャンマーの人びと、

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと
を顧み、み力を与えて、勇氣と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに

それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国
の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト

によってお願いいたします アーメン

礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画で配信されていま
す。(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時
間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。
※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受
付台付近の献金箱におさげください。
※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で
聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口
または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に
浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に
進みます。
※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の
陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。
※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分
餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮
なくお知らせください。
※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどあ
りましたら、遠慮なく受付案内の係までお声をおかけくだ
さい。

礼拝堂入口メールボックスについてのお願い

メールボックスは、教会と信徒の皆様との事務連絡の
ためのものです。私信などでの使用により、事務処理
に支障がある場合、教会がボックスの中のを処分
させていただくこともあることを、ご了解ください。

毎主日10時半の聖餐式での「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を皆さんで分担しませんか
み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、結婚記念
日、誕生日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受付付近の表に
お名前をご記入ください。よろしく申し上げます。

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。
また、フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせを
お伝えしています。 右のQRコードからご覧ください。



ホームページ



Facebook



広報チャンネル



Instagram

<お知らせ>

- ◇ 7月27日(日)17:00より当教会にて「歌による
夕の礼拝」が行われます。日常の忙しさから少
し離れて、夏の夜、美しい旋律に賛美の声をの
せて共に祈りましょう!
- ◇ 8月30日(土)“2025 デイキャンプ”を開催し
ます。詳細については、後日改めてお知らせい
たします。
- ◇ 主日礼拝では、過去50年以内に逝去された方
のお名前を挙げて代祷をお捧げします。それ以
前に逝去され、その週に逝去記念日を迎える方
のお名前の読み上げを希望される方は、当日午
前10時までにふりがなをつけたお名前と逝去
日を書面で受付にお出しください。
- ◇ 礼拝堂に入って左後方に観光客を配慮する座席
(reserved visitors)を用意しました。観光客の
方々がご自由に礼拝に参加できるようにご配慮
いただければと思います。
- ◇ 聖アンデレ教会のピンバッジが再入荷しました。
献金として1つ¥500以上お願いいたします。
- ◇ 葬儀のしおりとエンディングノートを配布し
ています。ご希望の方はお取りください。
- ◇ 聖堂の扉は、朝8時頃から夕方5時頃まで開い
ています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 礼拝後の黙想のあと、有志で聖堂のお掃除をし
ています。清掃後の座席の整列にもご協力をよ
ろしく申し上げます。
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、
自宅や病床での陪餐を希望される方は教会まで
ご遠慮なくご連絡ください。
- ◇ 教会建物内へのネズミの侵入を防ぐため、各ド
アは、都度、必ずお閉めください。

本日・今週の予定

7月20日(日) 聖霊降臨後第6主日(特定11)

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式(みことばと陪餐)

17時 夕の礼拝

・愛餐会 ・13時半 教会委員会

21日(月) 7時半礼拝

出 14:5-18 詩 136:1-4,10-15 マタ 12:38-42

22日(火) マグダラの聖マリヤ日 7時半礼拝

ユディ 9:1,11-14 詩 42:1-7 II コリ 5:14-18

ヨハ 20:11-18

卓司祭在室(午後)・10時 英会話クラス

23日(水)

出 16:1-5,9-15 詩 78:17-31 マタ 13:1-9

24日(木) 7時半礼拝

出 19:1-2 主への賛歌 マタ 13:10-17

25日(金)使徒聖ヤコブ日 7時半礼拝

エレ 45:1-5 詩 7:1-10 使 11:27-12:3 マタ 20:20-28

・卓司祭在室(午前)

26日(土) 7時半礼拝

出 24:3-8 詩 50:1-6,14-15 マタ 13:24-30

27日(日) 聖霊降臨後第7主日(特定12)

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式

創 18:20-32 詩 138 コロ 2:6-15(16-19)

ルカ 11:1-13 聖歌 12,379,506,483,339

17時 歌による夕の礼拝 聖歌 36,514

詩 8,84 ヨシュ 24:1-15 マタ 25:31-46

・愛餐会 ・14時半 城南グループ教会協議会

今週のメッセージ

今日の福音書の箇所は誤解されることが多いと思います。それは、マリアはみ言葉を聞く賢い選択をしたが、マルタはみ言葉は聞かないで仕事だけに力を入れているのでマルタは正しくないというものです。マリアだけが正しいと簡単に判断しがちです。今日の話は何を伝えようとしているのでしょうか。

イエス様はマルタに「あなたはいろいろなことに気を遣い、思い煩っている。」と語りかけます。口語訳の聖書は「あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている」と、新共同訳では「あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している」と訳されています。

この「いろいろなこと」の中の『こと』とはギリシャ語で「ディアコニア」、正確な訳は「奉仕」ということです。『マリアとマルタ』の物語は、「多くの奉仕」が信仰生活において「大事なもの」を疎かにする恐れがあることを示唆しています。

マルタは、自分だけが正しいという観念で周りの人々を見てしまい、不平をぶつぶつ言っています。わたしたちも教会生活の中において、ぶつぶつ言ってしまう場合があります。わたしたちは救いを求めて洗礼を受ける時は、自分の苦しみや悩みから出る叫びの祈りを聞いてくださる神様の方を向きます。しかし教会生活を続けているうちに、「いろいろなこと」に心を配るようになります。神様に向かって叫ぶことを忘れて、マルタのように不平不満をぶつぶつ言うようになります。ずっと昔、モーセの時代にもエジプトから解放された神の民は、神に対して苦しみから解放を求めて叫びましたが、いつの間にか神に対する叫びを忘れて不平不満を口にしてしまいます。現代の教会も神様に対する叫びより「いろいろなこと」に心を配るようになり、ぶつぶつ言うのかもしれない。

マリアとマルタの物語は、マルタの不平が焦点です。マリアは脇役です。これは「マリアとマルタ」というよりは「イエスとマルタ」の物語です。「いろいろな奉仕のこと」で思いわずらってぶつぶつ言っているマルタに「マルタよ、マルタよ」と特別な深い愛情を持って呼びかけるイエス様の物語です。今でも教会であまりにもぶつぶつと言ってしまうやかましくなると「○○よ、○○よ」という呼びかけが聞こえるはずで。

このマルタの話の後、ヨハネによる福音書を見るとマルタは神様を愛することはどういうことであるかについて諭されその姿を見えます。彼女の弟であるラザロが死んだとき、マリアは家の中に座していましたが、マルタはイエス様を迎えに行き「あなたが神にお願いになることは何でも神はかなえてくださると、わたしは今でも承知しています」と言いながら弟ラザロの復活を固く信じていると告白しました。ラザロが死んだとき、マルタは積極的にイエス様と話をし、死んだラザロを復活させてくださるよう願っています。ラザロの復活を通して福音を宣べ伝えようとしたイエス様のみ心を分かっていたからです。そしてマルタのぶつぶつ言っている姿は苦しみの叫びという祈りへと変わりました。

これからはわたしの名前を呼んでくださるイエス様の声に耳を傾けて、特別なイエス様の愛情を感じましょう。そして甘えましょう。ぶつぶつ言うよりは叫びましょう。苦しいときは苦しいと叫んでイエス様の愛を感じたいと思います。

(司祭 卓志雄)